2026 年度　修了生アンケート・まとめ

事業構想大学院大学
院生委員会

■実施目的：
① 研究科修了後 3 年目を経ての現在地
② 事業構想家としての意識変化と活動の把握
③ 修了生としての本学への思い、今後の期待
の確認を行うことを目的とした無記名のアンケート調査。

■アンケート対象者：2024 年 3 月修了生 131 名
※内訳：9 期入学(2020 年 4 月)1 名、10 期入学(2021 年 4 月)生 1 名、
11 期入学（2022 年 4 月）129 名

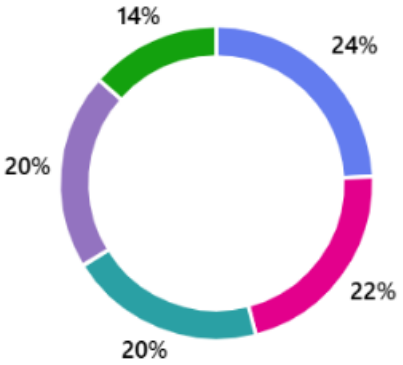
■実施期間：2026 年 7 月 23 日(金)～ 9 月 7 日(月)23：59 まで

■回答数・回答率：73／131 【回答率：55%】
- 東京校　：22／50　【回答率：44%】
- 仙台校　：20／31　【回答率：65%】
- 名古屋校：6／17　【回答率：35%】
- 大阪校　：14／15　【回答率：93%】
- 福岡校　：12／18　【回答率：67%】

■結果概要：

1．修了時にまとめた事業構想計画書の今の状況について、当てはまるものをご回答ください。

- A. 既に実行している
- B. 実行の準備を進めている
- C. 別の事業を実行している
- D. 別の事業を構想中である (構想したいと思っている)
- E. 特に実行予定もなく、別の事業も構想していない



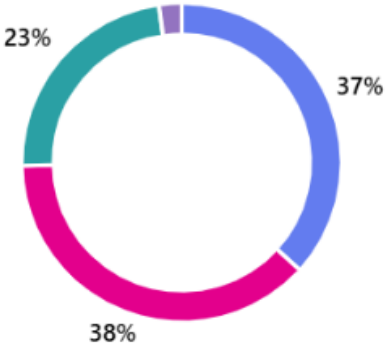
2. 在学中、新規事業を提案、あるいは計画する職務についていましたか。

A. はい	40
B. いいえ	32

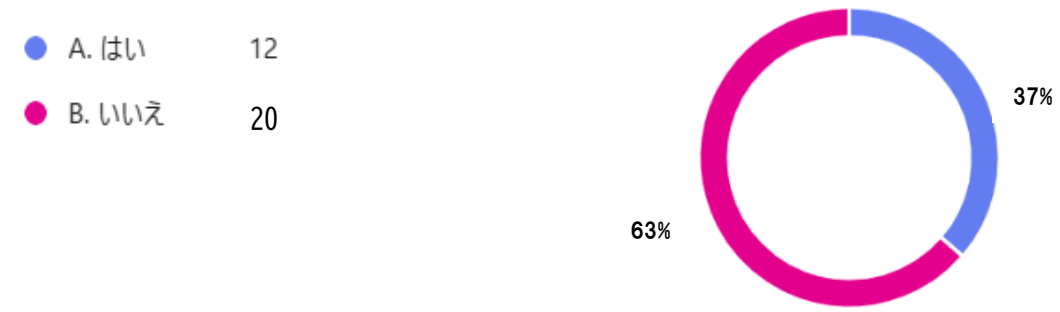


3．「A. はい」と答えた方へ。現在の職務に、本学での事業構想研究で特に役立っていると思う内容をお答えください。（複数回答可）

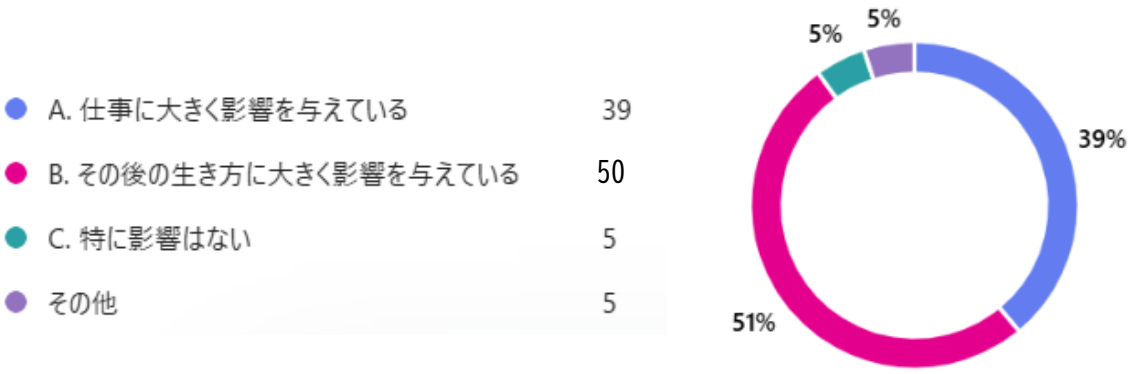
A. 講義内容	32
B. 学内の多様な院生・教員との交流や学び	33
C. 構想発表機会（演習・発表会）	20
その他	2



4．「B. いいえ」と答えた方は修了後の今、新規事業を提案あるいは計画する職務についていますか。



5．本学での事業構想研究は、現在の皆さんにどのように影響を与えていますか。（複数可）



6．「A. 仕事に大きく影響を与えている」、「B. その後の生き方に大きく影響を与えている」　と答えた方は、その具体的内容を記入してください。

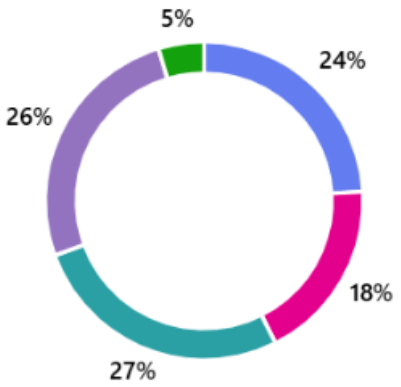
（回答まとめ）

修了後の変化として、転職や部署異動、昇進、大学教員への就任などキャリア面での成長や活躍の広がりが多く報告された。また、起業や新規事業の立ち上げ、事業構想計画の実装・事業化など、在学中の研究成果を具体的な行動や成果につなげている事例も見られた。

さらに、社会との向き合い方や人生観、本質を考える思考習慣が身についたとの声が多く、視座・視野の拡大や価値観の変化がうかがえた。加えて、修了生や教員とのネットワーク形成が新たな事業機会や学びの継続につながっているとの回答も多く、業務力向上やセカンドキャリア形成にも本学での学びが活用されていることが確認された。

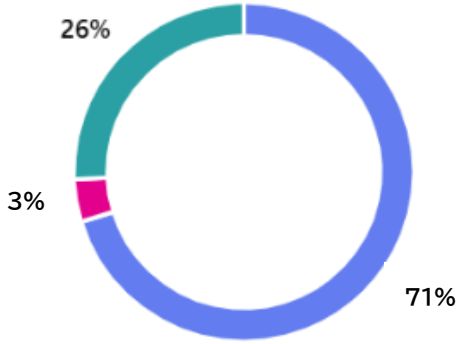
７．周囲の評価について：本学で学んだことで周りの方から、変わった、成長したなどの評価がありますか。（複数可）

A. 職場の評価	26
B. 家族の評価	19
C. 友人･知り合いの評価	29
D. 特になし	28
その他	5



８．本学への入学を他の方にも勧めたいですか。

A. はい	52
B. いいえ	2
C. どちらでもない	19



９．「A.はい」と答えた方は、具体的にどのような方に勧めたいですか。

（回答まとめ）

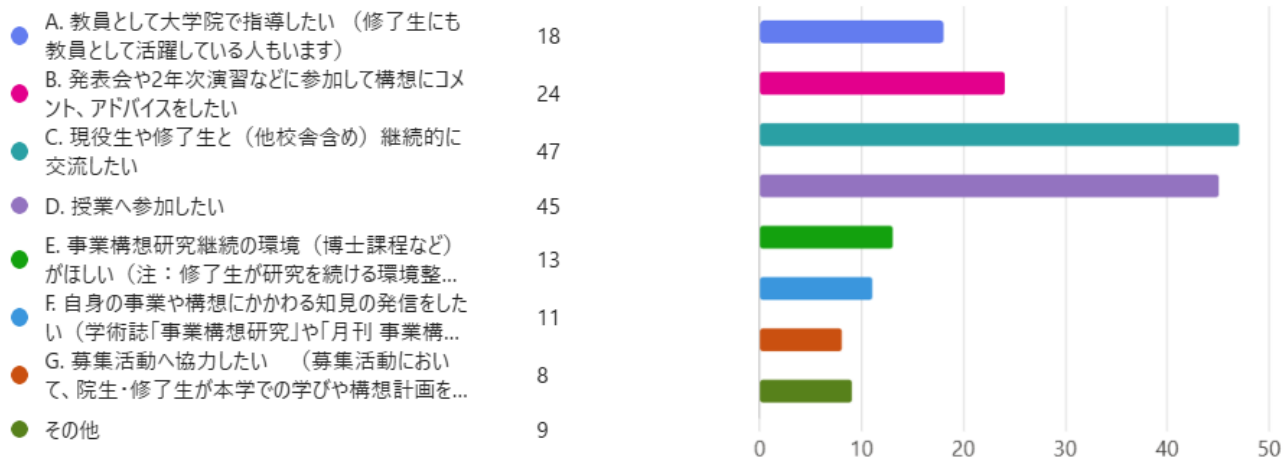
新規事業開発や起業、事業承継に取り組む経営者・企業人材に加え、キャリア転換や人生の節目を迎え、新たな挑戦や学び直しを求める社会人に勧めたいという意見が多く見られた。また、多様な人材との交流や本質的な学びを通じて、視野を広げたい人や自身の生き方を見つめ直したい人にも有益であるとの声があった。さらに、職場の次世代リーダー候補、公務員・教員など公共分野で活躍する人材への推薦意向も見られ、実際に入学を勧めたり紹介したりしている修了生も複数確認された。

１０．「B. いいえ」･「C. どちらでもない」と答えた方は、理由があればご記述ください。

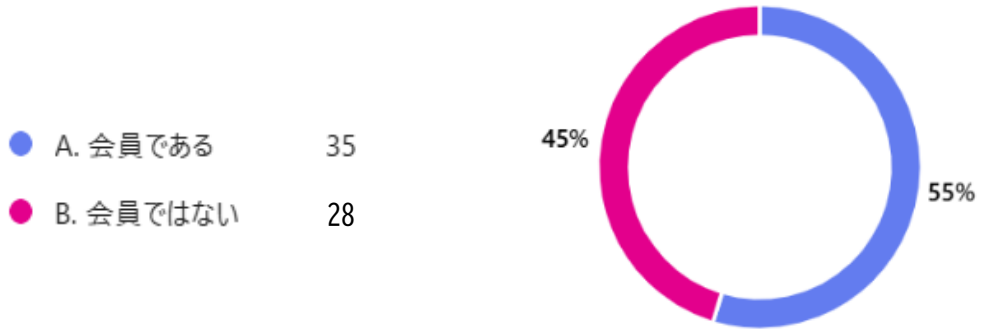
（回答まとめ）

本学への入学は有意義であると評価しつつも、「万人向けではなく本人の適性や目的による」とする意見が多く見られた。また、学びの成果は本人の主体性や実践への意欲に大きく依存するため、安易には勧められないとの声もあった。加えて、学費負担への懸念や受講環境との相性を指摘する意見があり、大学への否定的評価というよりも、本人の意思や状況に応じて判断すべきとの考えが中心であった。

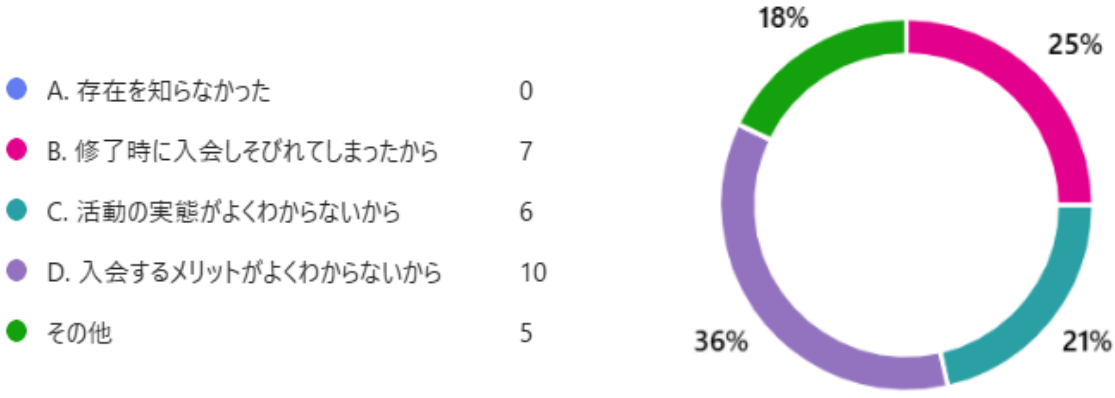
１１．修了後の本学とのかかわりの希望について、当てはまるものを選んでください。（複数可）



１２．「C.現役生や修了生と継続的に交流したい」という方へ質問です。青楠会（本学のアルムナイ組織）の会員ですか。



１３．青楠会について、「B.会員ではない」と回答した方へ。なぜ入会されていないのか、理由をお答えください。

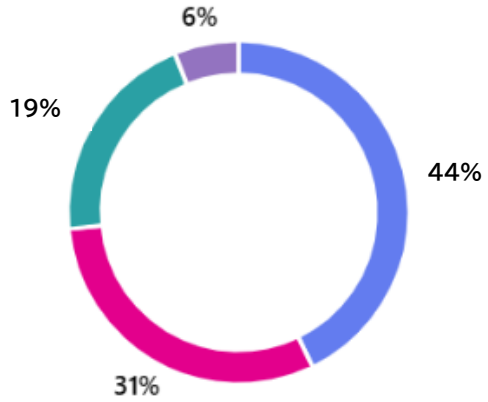


（その他の回答）

魅力を感じにくいという意見や、仕事や自身の事業を優先しているため、同窓会活動に参加する時間的余裕がないとの回答もあった。加えて、活動への参加に対して手間や負担を感じている声もみられた。

１４．「D.授業へ参加したい」とご回答した方へ質問です。どのような授業に参加したいですか。

A. 事業構想スピーチ	21
B. 授業科目の単価受講（有料でもよい）	15
C. 授業科目の単価受講（無料であれば）	9
その他	3



１５．その他、今後の本学の発展についてご意見あれば、自由に記述してください。

（回答とりまとめ）

本学に対する期待として、博士課程の設置や研究継続環境の充実を求める声が見られた。また、構想立案にとどまらず事業実装や事業化を支援する仕組みの強化、修了生の成功事例の蓄積・活用への要望が寄せられた。あわせて、事業構想修士や大学の認知度向上、修了生同士や教員との継続的な交流機会の充実を望む意見も多かった。教育面では、フィールドワークの拡充や時代に即した授業内容への更新などの提案があり、本学への感謝と今後も関わり続けたいという前向きな声が多数見られた。

以上